

## 母性看護学

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》○野崎由希子（看護福祉学部） 中谷 智子（看護福祉学部）

### 【概要】

女性のライフサイクルにおける性と生殖の側面からみた健康課題に対して、多様な価値観を考慮した看護のための学術的・実践的能力について考える視点を学ぶ。

### 【学修目標】

1. リプロダクティブヘルスや性の多様性についての考え方を知る。
2. 女性のライフサイクルにおける身体的・心理的・社会的特徴を理解する。
4. 母子保健の課題について考察する。
3. 母性看護学の対象者の特徴に応じた支援方法を身につける。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

### 【実務経験】

野崎由希子（看護師）

中谷智子（助産師・看護師）

### 【実務経験を活かした教育内容】

臨床での助産師・看護師の実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。